

平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月8日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社グリムス

コード番号 3150 URL <http://www.gremz.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 田中 政臣

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長

(氏名) 阿部 嘉雄

TEL 03-5769-3500

四半期報告書提出予定日 平成26年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	1,411	16.8	△25	—	△26	—	△34	—
26年3月期第1四半期	1,209	7.1	△35	—	△45	—	△34	—

(注)包括利益 27年3月期第1四半期 △34百万円 (—%) 26年3月期第1四半期 △35百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	△10.12	—
26年3月期第1四半期	△10.27	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	2,854	—	1,468	—	—	51.0
26年3月期	3,091	—	1,553	—	—	49.8

(参考)自己資本 27年3月期第1四半期 1,454百万円 26年3月期 1,540百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	0.00	—	15.00	15.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年 3月期の連結業績予想(平成26年 4月 1日～平成27年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,987	10.9	51	352.9	48	151.3	14	—	4.16
通期	6,592	14.0	505	81.7	500	70.8	267	73.7	78.26

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期1Q	3,493,600 株	26年3月期	3,493,600 株
② 期末自己株式数	27年3月期1Q	70,622 株	26年3月期	70,622 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期1Q	3,422,978 株	26年3月期1Q	3,370,778 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1) 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき作成しております。実際の業績は、業況の変化等により上記予想数値と異なる場合があります。

(2) 平成26年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純損失金額(△)、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び期中平均株式数(四半期累計)を算定しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動により個人消費が弱めとなっているものの、持ち直しの動きも見られ、設備投資の増加や企業収益の改善、雇用情勢の改善など、景気は緩やかな回復基調で推移しました。

このような経済状況の中、当社グループは、スマートハウスプロジェクト事業においては、住宅用太陽光発電システム等のエネルギー関連商品の販売や、新たに開始した再生可能エネルギーの開発、エネルギーコストソリューション事業においては、電力基本料金削減コンサルティング、LED照明の販売、及び新たに開始した電力料金の削減を目的とした電力の調達改善を行う代理購入サービスなど、創エネルギー・省エネルギー・畜エネルギーといったエネルギーに関連する様々な商品・サービスを提供し、電力自由化を見据えて積極的な事業展開を行ってまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高1,411百万円（前年同四半期比16.8%増）、営業損失25百万円（前年同四半期は35百万円の損失）、経常損失26百万円（前年同四半期は45百万円の損失）、四半期純損失34百万円（前年同四半期は34百万円の損失）となりました。

各セグメントの業績は、以下のとおりであります。

なお、前連結会計年度において、新規事業の創出を行う事業をその他事業として区分しておりましたが、当第1四半期連結会計期間より、「インキュベーション事業」として報告セグメントに区分しております。

[スマートハウスプロジェクト事業]

スマートハウスプロジェクト事業につきましては、九州地方・中国地方での地域中核店舗となる「京セラソーラーF Cイオンモール福岡」を西日本最大規模のショッピングモールである「イオンモール福岡」に出店することで顧客基盤の拡大を図り、蓄電池のセット販売を推進するなど、積極的な事業展開を行ってまいりました。また、4月からは再生可能エネルギー開発事業における売電収益を計上しております。その結果、スマートハウスプロジェクト事業の売上高は775百万円（前年同四半期比30.6%増）、セグメント利益は23百万円（前年同四半期は41百万円の損失）となりました。

[エネルギーコストソリューション事業]

エネルギーコストソリューション事業につきましては、電力基本料金削減コンサルティングによる電子ブレーカー販売は直販・代理店販売ともに好調に推移し、LED照明の販売についても好調に推移しております。また、新たに当第1四半期連結会計期間より電力代理購入サービスの新規開拓を開始しており、受注も順調に獲得していますが、新商材の導入に伴う費用負担があることから、エネルギーコストソリューション事業の売上高は634百万円（前年同四半期比3.0%増）、セグメント利益は69百万円（前年同四半期比24.4%減）となりました。

なお、前第1四半期連結累計期間においてセグメント利益に含めていた持分法による投資損益については、平成26年3月31日付で持分法適用関連会社であった株式会社ネオ・コーポレーションの株式一部譲渡により持分法の適用除外となったため、セグメント利益には含まれておりません。

[インキュベーション事業]

インキュベーション事業は、新規事業を創出する事業として、昨年11月設立の株式会社グリムスベンチャーズが行っておりますが、現在の事業内容はWebサイトを利用した商品販売であります。インキュベーション事業の売上高は2百万円、セグメント損失は17百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産、負債及び純資産の状況は以下のとおりであります。

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は2,287百万円となり、前連結会計年度末に比べ291百万円減少いたしました。これは主に、現金及び預金が242百万円、売掛金が55百万円減少したことによるものです。固定資産は566百万円となり、前連結会計年度末に比べ54百万円増加いたしました。これは主に建物が20百万円、工具、器具及び備品が20百万円、敷金及び保証金が16百万円増加したことによるものです。

この結果、総資産は2,854百万円となり、前連結会計年度末に比べ236百万円減少いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は979百万円となり、前連結会計年度末に比べ238百万円減少いたしました。これは主に、短期借入金が100百万円、未払法人税等が116百万円、未払金が24百万円減少したことによるものです。固定負債は407百万円となり、前連結会計年度末に比べ87百万円増加いたしました。これは主に、長期借入金74百万円増加したことによるものです。

この結果、負債合計は1,386百万円となり、前連結会計年度末に比べ151百万円減少いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は1,468百万円となり、前連結会計年度末に比べ85百万円減少いたしました。これは、四半期純損失34百万円と剰余金の配当51百万円による減少のためです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年5月12日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,677,179	1,434,534
売掛金	518,937	463,268
商品	294,561	297,423
繰延税金資産	38,976	45,452
その他	49,502	47,008
流動資産合計	2,579,157	2,287,687
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	94,674	114,993
機械及び装置(純額)	70,000	71,415
車両運搬具(純額)	19,005	21,163
工具、器具及び備品(純額)	51,171	71,905
有形固定資産合計	234,850	279,477
無形固定資産	33,474	28,199
投資その他の資産		
投資有価証券	47,985	47,985
敷金及び保証金	158,571	174,669
その他	37,267	36,517
投資その他の資産合計	243,824	259,173
固定資産合計	512,149	566,850
資産合計	3,091,306	2,854,538
負債の部		
流動負債		
買掛金	327,829	303,296
短期借入金	100,000	—
1年内返済予定の長期借入金	350,412	367,392
未払金	293,616	269,374
未払法人税等	118,351	2,312
引当金	4,351	3,856
資産除去債務	1,237	4,477
その他	22,081	28,425
流動負債合計	1,217,878	979,134
固定負債		
長期借入金	300,768	375,540
資産除去債務	16,087	27,953
その他	2,651	3,506
固定負債合計	319,507	407,000
負債合計	1,537,386	1,386,134

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	387,680	387,680
資本剰余金	126,293	126,293
利益剰余金	1,054,799	968,831
自己株式	△28,382	△28,382
株主資本合計	1,540,389	1,454,421
少数株主持分	13,530	13,981
純資産合計	1,553,919	1,468,403
負債純資産合計	3,091,306	2,854,538

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	1,209,206	1,411,919
売上原価	552,949	679,138
売上総利益	656,257	732,781
販売費及び一般管理費	692,171	758,497
営業損失(△)	△35,914	△25,715
営業外収益		
受取利息	102	105
受取手数料	1,209	293
解約手数料	45	471
資産除去債務取崩益	—	355
債務勘定整理益	1,070	—
その他	28	34
営業外収益合計	2,455	1,260
営業外費用		
支払利息	1,278	1,665
持分法による投資損失	10,321	—
その他	267	489
営業外費用合計	11,866	2,154
経常損失(△)	△45,326	△26,609
特別利益		
負ののれん発生益	368	—
特別利益合計	368	—
特別損失		
固定資産除却損	2,260	6,593
固定資産売却損	—	282
店舗閉鎖損失	891	4,676
特別損失合計	3,151	11,552
税金等調整前四半期純損失(△)	△48,109	△38,161
法人税、住民税及び事業税	7,802	1,933
法人税等調整額	△20,668	△5,923
法人税等合計	△12,865	△3,989
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△35,244	△34,171
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△642	451
四半期純損失(△)	△34,602	△34,623

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△35,244	△34,171
四半期包括利益	△35,244	△34,171
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△34,602	△34,623
少数株主に係る四半期包括利益	△642	451

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。